

杉並清掃工場 / ストーカ式焼却炉

Kanadevia

Technology for people and planet

ごみ処理事業

カナデビア株式会社は、1965年（昭和40年）に日本初の発電付きごみ焼却施設を建設、その後60年以上にわたり培ってきた技術力で国内外合わせて900か所以上（グループ会社含む）に導入、社会の発展に大きく寄与してきました。

これまで蓄積された豊富な経験と信頼された技術、さらにIoT・ビッグデータ、AIなどの先進情報技術を駆使し、時代のニーズに合わせた次世代のごみ処理施設へと革新を進めてまいります。

History

- 明治 14 年 英国人 E. H. ハンターが大阪鉄工所（個人経営）を大阪安治川岸に創立
- 昭和 18 年 社名を日立造船株式会社に変更
- 昭和 35 年 スイス フォンロール社とデロール式ごみ焼却プラントの技術提携
- 昭和 40 年 大阪市向けデロール式ごみ焼却施設完成（日本初のごみ発電施設）
- 昭和 58 年 韓国向けごみ処理施設 1号機受注（ソウル市）
- 平成 3 年 東埼玉資源環境組合第一工場受注、高温高压化による高効率発電の先駆け（平成 8 年優秀環境装置通商産業大臣賞受賞）
- 平成 5 年 台湾向けゴミ焼却施設 1号機受注（1,800t/日：当社最大処理量）（台北市）
- 平成 6 年 群馬県企業局向けに日本初のスーパーごみ発電施設受注（平成 9 年新エネルギー財団会長賞受賞）
- 平成 7 年 バーナ式灰溶融炉 1号機納入（我孫子市）プラズマ式灰溶融炉 1号機受注（可茂衛生施設利用組合）
- 平成 8 年 流動床式ごみ焼却施設 1号機受注（両津市）
- 平成 12 年 流動床式ガス化溶融炉施設 1号機受注（桜井市）
- 平成 13 年 台湾のごみ焼却プラント（3施設）で8,000時間の連続運転を達成
- 平成 15 年 全国に先駆けて、PFI推進法による一般廃棄物の中間（焼却）処理事業の契約締結（大館市）
- 平成 21 年 DBO方式によるごみ焼却施設の受注（松山市）
- 平成 22 年 技術提携先のイノバ社（旧フォンロール社）を完全子会社化
- 平成 25 年 バイオガス化施設（乾式）1号機受注（京都市）

最新技術で世界をリードする、ごみ焼却施設



カナデビアのデ・ロール式ごみ焼却施設

カナデビアのデ・ロール式ごみ焼却施設は、洗練されたフォルムで地域の環境と調和し、ひとつの風景として定着してきました。その公害防止機能や余熱利用は、地域の自然とくらしをしっかりと守っています。

ごみの完全燃焼システム、関連機器等の自動化・省力化を積極的に推進し、処理技術を高めてきました。

さらに、排ガス・排水処理等の公害防止技術を進め、地域の人々に安全・清潔な環境を実現しています。

deRoll-type grate incinerator

- ✓ 洗練されたフォルムで地域の環境と調和
- ✓ 高度な公害防止機能
- ✓ エコロジーな余熱利用



